

北海道179市町村のできる！を実現



木村としあき



北海道のニューリーダーは木村としあき！



想いを一つに最後の踏ん張りを

3月24日の告示以降、北海道内をめぐり、政策と支持を訴えてきた木村本隊車が事務所に戻ってきました。

木村候補は各地で多くの皆さんに訴えて太くなった声で、集まった支援者に向かって、街頭演説を締めくくる最後のお願いに声を張り上げ、道内・全国からの支援に感謝の想いを込めてマイクをおきました。

午後7時45分、北海道を変えようとの道民の期待と希望と夢を本隊車一杯に積み込み、真っ黒に日焼けした顔で事務所前に戻った木村候補は、1月の出馬表明以来、励まし、支えていただいた道内、全国の皆さんに感謝の言葉を口にし、選挙戦で一貫して訴えてきた「道民の命と生活を守る。179のできるを一緒につくる北海道庁の実現を私の手でやらせてほしい」と、北海道に寄せる熱い想いとほとばしる情熱をマイクにぶつけ、本隊車での遊説を締めました。

だ、一日ある。もう一つ二つ、確実な支援の輪を広げてほしい」と集まった支持者らに訴えました。

木村候補とともに元氣な北海道を！

また、政連車の川原本隊長は「北海道内をまわって木村候補が訴えているとおり、できるんです。この北海道、もったいないんです」と、17日間を振り返るとともに、「木村候補の想いを伝えられたと思う。木村候補とともに北海道を元気にしていこう」と呼びかけました。

残り一日、確実な支援の輪を広げて

17日間の本隊行動を共にした本隊スタッフを代表して大出本隊長が「チーム一丸となつて戻ってくることでできた。各地域、後援会の皆さんにお世話になった」と、感謝の言葉を述べるとともに、「ま

本隊車での遊説は今日で終わりますが、選挙戦は明日の投票箱のフタが締まるまでが本当の勝負です。これからの24時間、やり残したことはないか、再度点検し、共に闘った道議候補、上田札幌市長候補、札幌市議候補の勝利を掴み取ろう！

ススキノ集会でのごあいさつ

■合選本部長
荒井 聡衆議



震災の中、非常に厳しい選挙戦だったがしっかりと訴え続けてきた。北海道の生きる道は食と中小企業を育成し雇用を守ることである。

その先に179市町村が団結をしなければならないが、今の知事にはできていない。木村候補だからこそできる。上田候補は困難なことを丁寧に市民に話しかけ、しっかりとやりとげた。この人をおいてやり続ける人はいない。上田さんだからこそできる。あと2時間、木村候補、上田候補に大きな大きなご支援を。

■民主党副代表

鉢呂 吉雄衆議



この先4年間の北海道、札幌を決める大変重要な選挙。小泉以来、地方交付税が切り下げ続けられてきたが、民主党政権で食い止め、地方が責任を持って使える仕組みをつくった。地方自治体の首長、議会の役割は大きくなった。北海道179市町村が連携することが大切。木村候補のスーパー公務員の実力は全国でも認められている。スーパー公務員の実力を遺憾なく発揮してもらおう。北海道をこのまま沈没させるのではなく、北海道から東北に、全国にも元氣や勇気を与えるようお二人にやってもらいたい。



ススキノ集会に千名参加
北海道は必ず元氣にできる！

選挙戦最終日の9日18時から、「がんばろうNIPPON」ススキノ集会が千名の支持者らが参加して開催されました。日焼けしたくましく、引き締まった顔で車上上がり、手を振って支持者の声援に応えた木村北海道知事候補は「木村は

道民の命を守る、二つ目に道民の生活を守る、3つめに『179市町村のできる』を一緒になつてつくり、元氣な発信力のある北海道をつくることを私に実現させてほしい」と訴え、そのためには札幌が重要な役割を果たすとして、「なんとしても上田候補の3期目当選が必要。市長は上田、知事は木村、ご支援の輪を広げて必ず勝たせてほしい。未来を担う子と孫たちのため



木村候補、上田候補に小旗を振って声援をおくる支持者ら

にしつかりと働く」と、ひととき大きな声で決意を述べると、ススキノの繁華街に「キムラー」「ガンバレーツ」「勝つぞーっ」の声が沸き上がり、厳しい選挙情

勢を跳ね返し、なんとしても勝ち抜くと固く誓い合いました。
上田と木村が札幌と北海道を盛り上げる

これより先にマイクを握った上田札幌市長候補は「北海道のために、頼りにされるまちづくりをしてきた」と2期8年間を振り返り、「3期目は新しい知事を迎えることによつてその理念が北海道に行き渡る。上田と木村候補が札幌と北海道を盛り上げたいことを誓う」と訴え、大きな拍手

地下街を練り歩き
支持を呼びかける



ススキノ集会終了後、木村候補は荒井合選本部長らと地下街を練り歩き、支持を呼びかけました。